

## 第3回小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会

令和6年9月24日（火）午後6時30分～  
前原暫定集会施設2階B会議室

### 1 議題

- (1) 前回会議録の確認
- (2) 小金井市における学校部活動の地域連携について
- (3) 小金井市の学校部活動のあり方について
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

### 2 配布資料

- 資料1 小金井市における学校部活動の地域連携について
- 資料2 小金井市剣道連盟ウェブサイト抜粋
- 資料3 小金井市学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画（案）
- 資料4 第2回小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会ワークショップまとめ
- 資料5 令和6年度小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会スケジュール



# 『部活動地域連携・地域移行について』



リーフラス株式会社  
2024年9月24日(火)

## ■テーマ

小金井市の部活動における地域連携・地域移行を検討していく中で、  
実証実験を行っていく。

## ■実証実験とは？

小金井市部活動における方向性を決めるため、生徒・保護者・学校を対象  
とした取り組みを展開する。

その取り組みを実施後、成功事例の共有や課題解決を検討することで、  
小金井市らしいモデルを構築する。



実証実験のモデル実施に向けて考えることは

## ■ 部活動現場での課題点

現在、少子化によって子どもの数が減少し、必要な部員数の確保ができず、学校単独でのチーム編成ができないこと。教員の長時間労働環境に関する問題がある。

部活動地域連携・地域移行が検討される中で、生徒・保護者としては、どのような指導員が来るんだろう。学校としては、部活動の指導に関わりたい先生もいれば、専門知識や指導技術不足により、顧問を外れたい先生もいる現状が混在している。



- ①連携・移行に興味があるが、外部への依頼に不安がある
- ②学校現場として、何が変化するのかわからない



## ■ 実証実験を行うことで、、、

### ◆生徒にとって

- ・顧問の先生が専門外だった場合、専門の知識に基づく指導を受ける機会創出
- ・学校の先生以外の大人との関わりによる成長の機会創出

### ◆先生にとって

- ・部活動指導の負担軽減
- ・事務的な作業負担の軽減

### ◆保護者にとって

- ・生徒の成長や環境整備を感じていただく機会創出
  - ・システム導入の際に、個人によっては欠席登録やスケジュール(掲示板)の確認を便利に感じていただける機会創出
- ※実証実験の期間によって内容は異なる。



地域連携・移行についての実証例から、モデル構築の材料として、、、

## ■事例共有

# 地域連携モデル

### 東京都での実績

## ■A区部活動支援事業（区の独自予算）

A区教育委員会事務局より委託を受け、区内10校128部活にて部活動指導支援を行っております。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ・A中学校（11部活） | ・G中学校（14部活） |
| ・B中学校（15部活） | ・H中学校（15部活） |
| ・C中学校（10部活） | ・I中学校（10部活） |
| ・D中学校（11部活） | ・J中学校（11部活） |
| ・E中学校（7部活）  |             |
| ・F中学校（9部活）  |             |

全部活動に業務顧問を据えて、全部活動に部活動指導員を配置

平日部活動 土日祝部活動 大会指導引率

統括責任者を5名配置 1人2～3校担当

- ⇒ 学校・指導員とのスケジュール調整
- ⇒ 指導員欠員時の指導代行・管理
- ⇒ 活動日の巡回（仕様書 1校あたり1週間に5回巡回）
- ⇒ 大会の引率・同行
- ⇒ 部活動運営システムでの出席管理・保護者対応

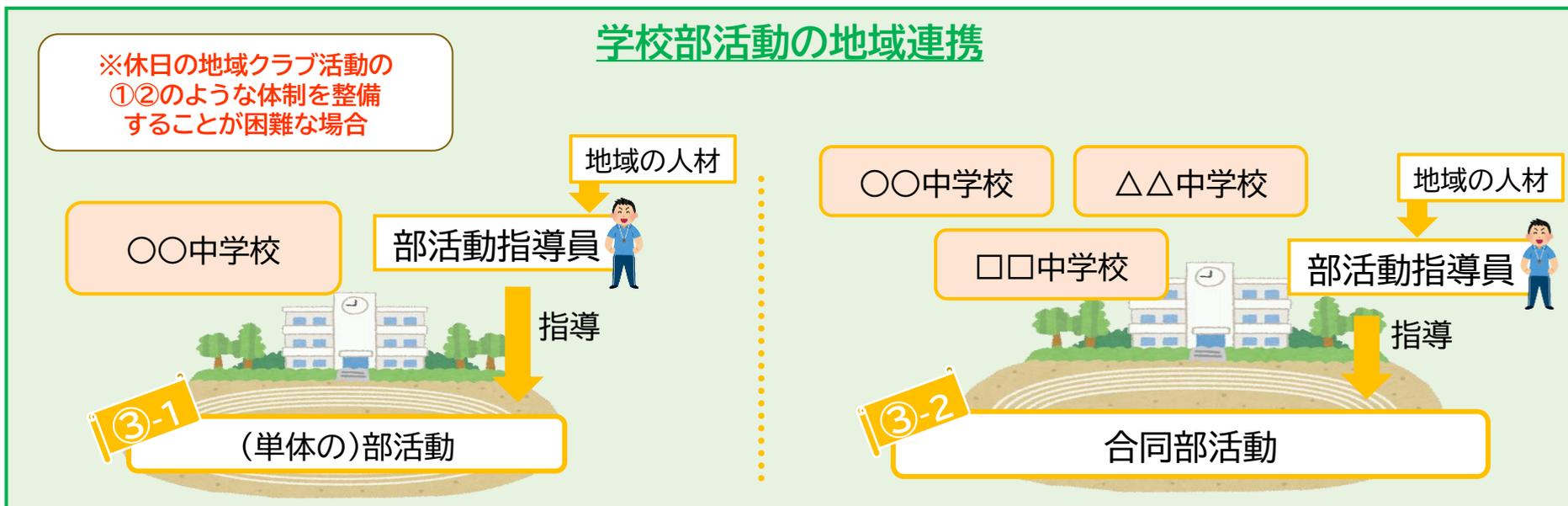
### ①地域連携について

地域連携とは、現在ある学校部活動の指導や顧問業務を、外部指導者(民間指導者や地域クラブ等)と連携し運営する形。

- (例)・顧問不在の部活動として地域連携
- ・管理顧問を配置として地域連携

運営が永続的に活動できる環境にあるのか？

- ①指導員の確保
- ②学校側との連携
- ③生徒・保護者との連携



## ■ 事例共有

# 地域移行モデル

### 東京都での実績

## ■ D区部活動支援事業 (区の独自予算)

D区教育委員会より委託を受け、  
地域クラブとして3会場にて部活動指導支援を行っております。

拠点会場にて地域クラブ(陸上)を実施

- ・会場① 種目 短距離・ハードル
- ・会場② 種目 走り幅跳び・走り高跳び
- ・会場③ 種目 長距離・投てき

上記地域クラブへ部活動指導員を各種目へ1名の総勢6名配置

土日祝 週1回の活動

統括責任者を1名配置 (活動日に地域巡回)

- ⇒ 年間活動スケジュールへ指導員へ配置
- ⇒ 指導員欠員時の指導代行・管理
- ⇒ 活動日の巡回指導
- ⇒ 部活動運営システムでの出席管理・保護者対応

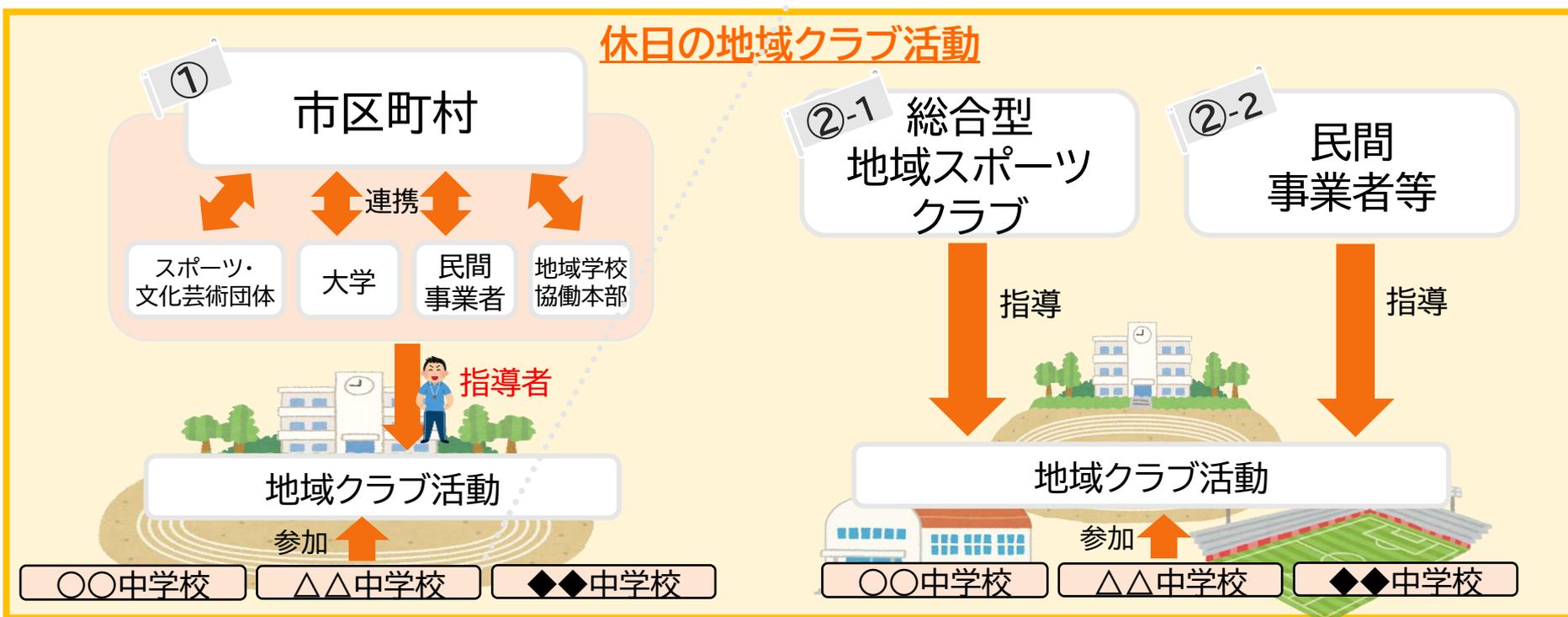
## ②地域移行について

地域移行とは、学校部活動とは異なる地域クラブを設置して運営する形。

(例)既存の部活を地域クラブへ移行  
新規の部活を地域クラブとして設置

運営母体が永続的に活動できる環境にあるのか？

①指導員の確保 ②生徒の確保 ③生徒・保護者との連携の形



## ■ 議題

# 実現可能な実証実験の検討について

小金井市として目指す方向性も含め、どのような実証実験が望ましいか。  
また、生徒・保護者・学校・顧問によりよい部活動環境になるか。  
皆さんと一緒に考えてみましょう。

小金井市剣道連盟ウェブサイト抜粋



## R6年度小金井市剣道連盟中学生部参加のご案内

令和4年度より、小金井市剣道連盟では、市内中学校において剣道部が無い生徒に中学生同士の稽古と試合出場の場を提供する為、中学生部が昨年度より創設されました。

生徒は、東京都中学校体育連盟剣道部第10ブロック個人戦に出場しています。

中学生の部を創設する事で、各中学校や各道場の枠を外し、広く市内生徒が集い、剣道を続けて行ける機会を作ります。

見学、体験もできますので、月曜の稽古に是非お越しください。

指導員 平良 直人 教士七段  
砂子 啓子 錬士六段

- \* 毎週月曜日 一中19時～20時半（18時40分開場）
- \* 火曜 本町小学校/ 水曜 前原小学校/ 木曜 一中自主稽古/  
土曜 東中学校 /日曜 総合体育館 一般会員と同様の時間帯

R6年度募集開始日 2024年3月より随時

会費 年間6000円+初年度入会金1000円  
（小金井市剣道連盟の準会員枠となりますので、月曜以外も日曜までの連盟稽古に参加できます。）

※試合参加、稽古について保護者様のご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

※来年中学校に進学する小学校6年生も参加可能です。（\*5年生応相談）

※試合出場に向け、在学の中学校担任の先生へ剣道個人登録を申し込み下さい。（後日説明）

※入部する部活動は継続したままで構いません。

※定期テスト期間は自主稽古といたします。

## 【案】小金井市「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」

令和6年9月策定

## 1 推進目標

令和7年度中に、休日における運動部活動について、1～2種目程度の部活を地域連携・地域移行の試行に着手する。令和8年度中を目途に地域団体等と連携し、部活動の地域連携・地域移行を推進できる体制づくりを試行する。

## 2 現状と課題

運動部33部、文化部26部、合計59部の部活動を設置しており、約90%の生徒が加入している。  
令和6年度までに、部活動指導員を12名配置、外部指導員を52名配置している。

## 3 取組の方向

地域クラブ団体、企業、大学等の地域資源を活用した学校部活動の地域連携・地域移行を通して、「市の生涯スポーツ、文化の振興及び関係団体や人材の育成」を推進する。（※「小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会」において検討中）

## 4 改革推進期間における小金井市の取組

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
協議会、検討会の開催	・小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会の開催	・小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会の開催（年4回程度）	・小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会の開催（年4回程度）
地域連携	・部活動指導員を2名増員（全体で10名）	・部活動指導員を2名増員（全体で12名）	・部活動指導員の拡充について検討
地域移行	・特になし	・地域連携・地域移行可能性の検討	・休日における運動部活動について、1～2種目程度の部活を地域連携・地域移行試行着手

## 5 成果指標

- ・休日における運動部活動について、1～2種目程度の部活を地域連携・地域移行試行の実施
- ・地域団体等と連携し、部活動の地域連携・地域移行を推進できる体制の整理（団体数等の増加など）

2024年7月26日(金) 検討委員会実施

テーマ:小金井市の部活動の方向性について(所用時間:40分)

## ■第1チーム

天本 晋平委員/板垣 智徳委員/梶野 政志委員/鈴木 哲也委員

## ■意見

- ・生徒目線でやりたい部活ができる
- ・引退してやり遂げたと思える活動
- ・活動を通じた仲間ができる
- ・競技力向上
- ・やりたい事に熱中できる(生徒・教員共に)
- ・専門性の種目指導の課題
- ・指導者に適切な報酬が支払われる
- ・1つの種目の突き詰めだけではなく、様々な種目や活動を選択できる

## ■グループまとめ

- ・あるべき姿、形も多様性がある発見。
  - 競技性を突き詰める
  - 楽しく自主性をもって参加できる

## ■第2チーム

瀧島 啓司委員/瀬沼 将己委員/中村 彰宏委員/依田 隆夫委員

## ■意見

- ・子どもが望むことができる環境
- ・自分の居場所や仲間が見つかる環境
- ・地域部活を経験することで成長
- ・学校という枠だけでなく小金井市としての活動と捉える
- ・指導者を多数育成・分抱して活動
- ・兼職兼業が可能になる取り組み
- ・既存の活動を活用し、費用面を充実させる
- ・キャリアパスにつながる部活動
- ・なりたい自分になれる

## ■グループまとめ

地域移行をすることで、枠を超えて讃えあう環境や、  
リスペクトし合える環境を整えることで、活動の形をよりよくできる。  
兼職兼業を行うことで可能性も広がるのではないか。

- 第二の居場所という環境を作れる。
- キャリア形成につながる活動となる。

## ■第3チーム

大林 基委員/川原 美紀委員/倉脇 雪夜委員/島田 剛委員/下島 陸矢委員/砂子 啓子委員

## ■意見

- ・大会などの縛りがなく参加ができる環境の構築
- ・生徒のやりたい種目を残す
- ・合同部活動の実施をし教師の負担軽減
- ・子どもが好きな活動ができる
- ・生徒が部活運営(生徒主体)
- ・新しい種目で地域移行を展開
- ・やりたいことを実現できる仕組み
- ・備品費/指導費を抑えて移行
- ・社会人サークルを充実させて指導者確保

## ■グループまとめ

子どもたちが自分のやりたいことを自由に選べる形で、地域移行ができれば、今の部活動よりも可能性が広がる。

→子どもたちの主体性が伸び、モチベーションも上がる。

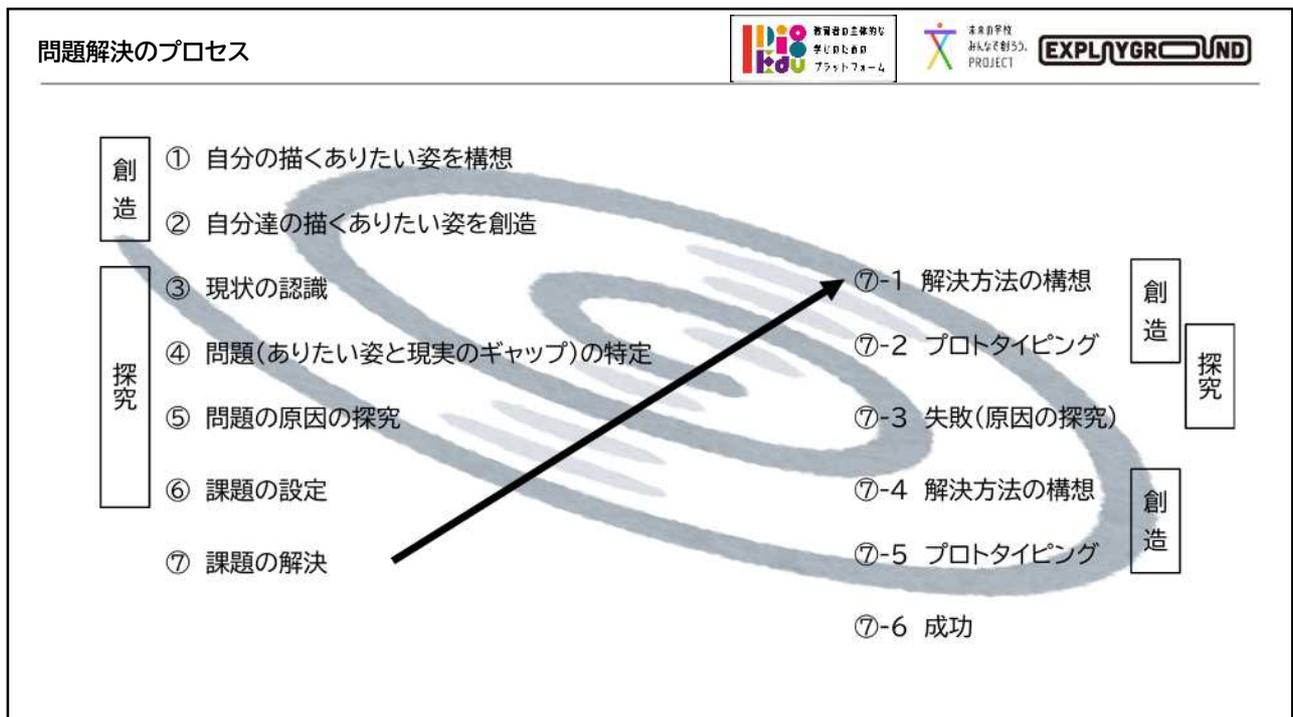
→学校や先生方によって、地域移行に対する課題が異なるため統一化が必要。

## ■総まとめ

- ・様々な立ち位置からのご意見でありましたが、生徒たちにとって意義のある内容や安全かつ健全に活動できる環境をイメージされる意見が多く見られました。
- ・生徒達を想った意見ではあったが、方向性として、種目性に特化して追い求められる環境や生徒主体に楽しく活動ができる環境を主体とする考えと様々意見がありました。
- ・現在の部活動から、地域や民間と連携されていく中で、先生方の負担軽減や部活動に携わりたい先生方の立ち位置についても検討していく事が大切だと感じられました。

## 問題解決のプロセス

1



2

具体的には何をやるの??? 高校生の事例



自分の描くありたい姿の構想	家族が健康でいてほしい	
自分たちの描くありたい姿の創造		
現状の認識	日本の中高年の生活習慣病の原因は運動不足にある。厚労省が+10というキャンペーンをやっているが効果があがっていない。	
問題(ありたい姿と現状のGAP)の特定	家族に継続的に運動してほしいし、国も色々働きかけているけれど、全然、運動しない。	
問題の原因の探究	国やお医者さんに時々言われても、継続してやる気にはならないんじゃない。	
課題の設定	家族に継続的に働きかけて、運動を継続させるには？	
課題の解決	解決方法の構想	子どもから継続的に働きかけたらいいんじゃないか。親が1時間運動したら、1時間10分お手伝いをするという仕組みはどうだろうか？
	プロトタイプング	自分たちのチーム(3人)の家でやってみよう。
	成功/失敗/次の問い	3家族中2家族は3か月運動が続いている。残りの1家族は？
	原因の探究	アプリをつくって定期的に子どもからの応援が届くのはどうだろうか。
	解決方法の構想	自分たちのチーム(3人)の家でやってみよう。
	プロトタイプング	3家族中2家族は3か月運動が続いている。残りの1家族は？
成功/失敗/次の問い	他の家族でもうまくいだろうか？	

3

具体的には何をやるの??? 小学校4年生の事例



自分の描くありたい姿の構想	学校からフードロスが出ないといいなあ。	
自分たちの描くありたい姿の創造		
現状の認識	牛乳は栄養のバランスがいいから、給食には欠かせない。牛乳が毎日バケツ一杯以上捨てられている。。。	
問題(ありたい姿と現状のGAP)の特定	牛乳は毎日フードロスになって捨てられている。	
問題の原因の探究	牛乳があまり好きでない人が牛乳を飲み切れない	
課題の設定	牛乳があまり好きでない人の牛乳をフードロスにしないようにする	
課題の解決	解決方法の構想	①クラス全員で気合を入れる ②飲み切ったらご褒美をあげる ③嫌いな人の分を好きな人が飲む
	プロトタイプング	1週間ずつ自分たちのクラスでやってみる 1. 6ℓの残量が①だと1.3ℓに、②だと1.2ℓに、③だと0ℓに！
	成功/新たな問い	僕たちのクラスではできたけど、1年生だったらどうだろうか？
	原因の探究	1年生の様子の観察とヒアリング
	解決方法の構想	①ご褒美キャンペーン ②嫌いな人の分を好きな人が飲む
	プロトタイプング	1週間ずつ1年生のクラスでやってみる 1. 2ℓの残量が①だと0.4ℓに、②だと0.8ℓに、③だと0ℓに！
成功・失敗?/新たな問い	学年によってやり方を変える必要があるのか？	

4

問題とは？

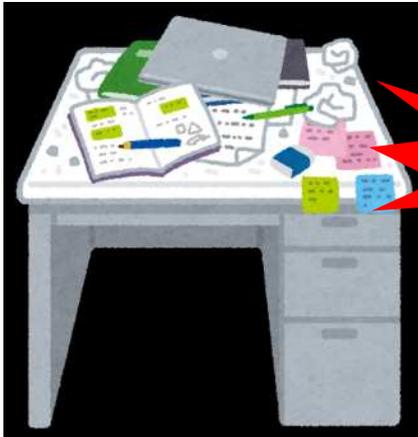
5

問題とは？



**「机が汚い」こと自体は「問題」ではない。**

6



現状

GAP



あるべき姿  
ありたい姿

ありたい姿／あるべき姿を描いて  
現状と見比べないと  
問題は見いだせない。

問題解決とは？  
現状とありたい姿のGAPをうめること

動力付きの有人飛行を成功させた  
ライト兄弟



人類は空を飛べ~~が~~て困っていた？

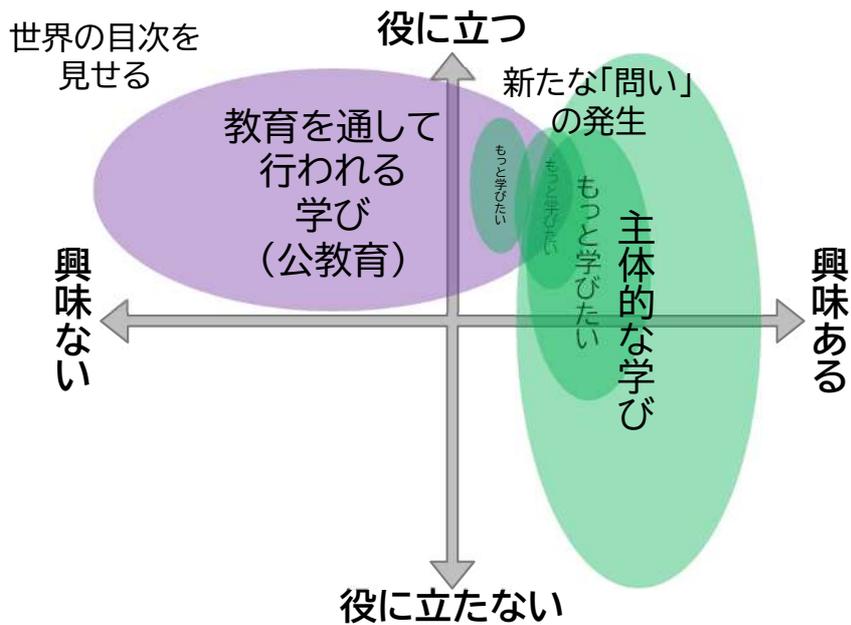
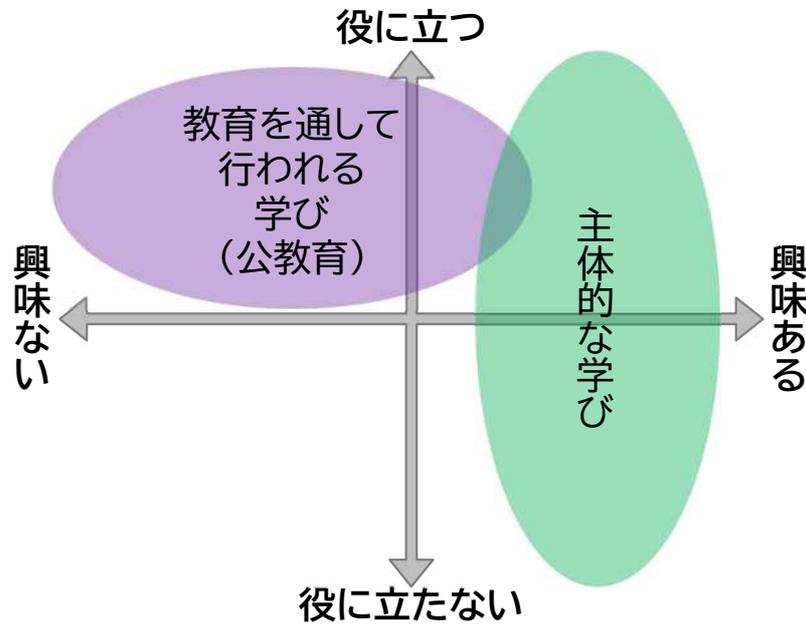


人類は空を飛んでみたかった！

問題  $\neq$  こまりごと

問題  $=$  現状と  
ありたい姿の  
GAP

学習の個性化と主体的な学びの実現



教科教育



世界の目次を見て

好奇心の発動

もっと学びたい！

もっとやりたい！

主体的な学び  
総合的な学習の時間

探究的な活動

STEAM活動

学習の個性化

主体的な学び

放課後の学び  
部活動

学習の個性化

探究的な活動

STEAM活動



子どもの学びを最大限優先しながら  
地域の大人も一緒に学ぶ  
「開かれた学校」  
「大人も部活動！」

## ありたい姿を構想する

15

企業はありたい姿を言葉にしている



### 誰に対して



### 何をしたいのか？



ビジョン 住まいの豊かさを  
世界の人々に提供する

目標 ニトリの製品を通じて、  
住まいの豊かさを世界の  
人々に提供された状態

解決手段 お、ねだん以上。ニトリ

ビジョン 任天堂の商品やサービスを通じて  
任天堂に関わる すべての人を笑顔にする

目標 任天堂は独自技術で開発した商品  
サービスを通じて、革新的な遊びを  
提供し、すべての人を笑顔にする

解決手段



16



未来の学校  
みんなで創ろう。  
PROJECT

大人も

# 好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？  
「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校が、  
「答え」より「好き」を見つけられる場所であってほしいと考えています。  
広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。  
そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、  
明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、  
社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。  
「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

【第2期のチーム構成】

	テーマ	企業(仮)	他地域
社会共創	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校内共創空間のモデル開発</li> <li>○学校内でサードパーソンとの共創のモデル開発</li> </ul>	【共創空間】コクヨ株式会社・株式会社カモマン・株式会社出島プランニング・株式会社博報堂・株式会社ジョルテ・Mistletoe Japan 合同会社・ソニーマーケティング・一般社団法人コベルニク・ジャパン 【キャリア教育】リクルート・NPO法人xTReeE 【居心地】ジブラルタ生命保険株式会社・NECネットエスアイ・凸版印刷株式会社	宮崎県延岡市 福島県矢祭町 岡山県津山市 岩手県山田町
個別最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○義務教育における、誰一人取り残すことのない学びを保障する学校教育</li> <li>○上記を可能にする社会システムのモデル開発</li> </ul>	【誰一人取り残さない】学研教育みらい・授業研究グローバルサービス・認定特定非営利活動法人Teach For Japan 【ゲーミフィケーション】NPO法人 アクセプションズ・株式会社FUNDARD・日本文教出版株式会社	岡山県津山市 岩手県山田町
教育のDX	<ul style="list-style-type: none"> <li>○GAGAスクール時代の学校空間のモデル開発</li> <li>○GAGAスクール時代のICTの教育への導入</li> <li>○探究的な学びとEポートフォリオ</li> <li>○学習成果のデジタルアーカイブ</li> <li>○データ駆動型の評価のモデル開発</li> <li>○メタバース道徳</li> </ul>	【教室空間】株式会社内田洋行・東日本電信電話株式会社・ソニーマーケティング・エプソン販売 【VR/AR】 SOLIZE株式会社・Pico Technology Japan 株式会社・株式会社ナディア 【デジタルアーカイブ・ポートフォリオ】株式会社ポブラ社・株式会社アフロ 【データ駆動】株式会社JMC・株式会社カナメプロジェクト 【メタバース道徳】ソライズ	岡山県津山市 岩手県山田町

- ★ ありたい姿がでかすぎる、抽象的すぎる。突拍子もない夢のようなことから離れられない。
- ★ 深まらない。飽きる。
- ★ 方法をありたい姿と混同する。
- ★ 「ドッチボールやりたい！」というような「今、やりたいこと」をいつてきた場合、それをどう学びに変換するか。

- ★ ありたい姿がでかすぎる、抽象的すぎる。突拍子もない夢のようなことから離れられない。

○具体化させるか、自分の経験と紐づけさせる、どうして自分がそれをやりたいのかリフレクションさせる。

- 空気が青い → 車がガスをだす
  - どここの空気が青くないの？
  - どれくらい空気をきれいにしたいの？
  - 空気が汚いなああと思ったのはどんなとき？
  - その時どんなふうに思った？

→ 空気がおいしい葉山町

意見：あなたのテーマにとってどんな意見をもっていますか？

経験：その意見に関連する経験(知っていることも含む)は何ですか。

感情：その経験には、どのような感情が紐づいていますか。

価値観：そこから見えてくるあなたが大切にしている価値観は何ですか。

★ 深まらない。

エポケー

判断保留  
カッコに入れる

アブダクション

因果推論  
こういう理由だろう

バンドをやりたい！

なんでバンドやりたいの？

音楽好きだから

何で音楽好きなのかな？

気持ちいいから

どんな気持ちかな？

自由な感じ

何から自由になるの？

うーん いやなこととか

音楽やると嫌なことから  
自由になれるんだね

★方法をありたい姿と混同する。

○ お金持ち → 原油を見つける

→ どれくらいお金持ちになりたいの？

→ 誰がお金持ちになりたいの？

→ なんでお金持ちになりたいの？

→ 欲しいものを手に入れたい

→ みんなが欲しいものを手に入れられる葉山町にしたい



ビジョン

住まいの豊かさを  
世界の人々に提供する

任天堂の商品やサービス  
を通じて  
任天堂に関わる すべての人を笑顔にする

目標

ニトリの製品を通じて、  
住まいの豊かさを世界の  
人々に提供された状態

任天堂は  
独自技術で開発した商品  
サービスを通じて、  
革新的な遊びを提供し、  
すべての人を笑顔にする

## 好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？  
「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校が、  
「答え」より「好き」を見つけられる場所であってほしいと考えています。  
広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。  
そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、  
明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、  
社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。  
「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

## 誰に対して 何をしたいのか？

令和6年度小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会スケジュール

第1回

日時 7月26日(金) 18時30分～

場所 小金井市市民会館(萌え木ホール)3階A会議室

第2回

日時 9月24日(火) 18時30分～

場所 前原暫定集会施設B会議室

第3回

日時 12月18日(水) 18時30分～

場所 小金井市役所第二庁舎801会議室(予定)

第4回

日時 2月13日(木) 18時30分～

場所 小金井市役所第二庁舎801会議室(予定)

オーストラリアからいらしている英語ボランティアの方を交えて、日本食を生徒達と先生が作り、食事をしながら歓談しました。この方は普段から南中の英語ボランティアとして活動をされており、渋谷や港区内の中学校でも同様のボランティアをされたそうですが、生徒達が素晴らしいという理由で、今は南中のみで活動をされているという事でした。そして、もっと英語学習を楽しく出来る様に積極的な取組を提案したいとおっしゃっていました。

夏休みに南中国際理解部はこのイベントの他、大使館や、ユニセフハウス等も訪問しており、単に内申を稼ぐだけのワンデー部活ではなく、主旨にあった活動を顧問や、ボランティアの力を借りながら積極的に進めています。



調理室の様子。日本の家庭料理を英語ボランティアの方に食べて頂きながら対話



生徒達も頑張って調理していました



切った分は全て炒めるといって、どんどん料理が増えて行きました(笑)



先生も頑張って調理していました



英語ボランティアの方も興味深そうに眺めていました